

平成29年第3回土浦市国民健康保険運営協議会 議事録

- 平成29年11月30日（木） 14：30開会
- 出席者 10名
- 傍聴人 0名
- 過半数の出席が得られたので、本会議が成立する。（土浦市国民健康保険規則第4条第5項）

市長

- ・市長挨拶
- ・諮問  
土浦市国民健康保険税賦課方法の改正に関する事項  
(1) 賦課方式の決定について  
(2) 土浦市国民健康保険税率の改正について  
(3) 改正期日 平成30年度分から

委員

- ・会長挨拶
- ・議長は「岩井浩一会長」が務める。（土浦市国民健康保険規則第4条4項）
- ・議事録署名人は、議長により、木野委員、板垣委員が指名される。（土浦市国民健康保険規則第7条）

協議事項（1） 国民健康保険制度改革について

- 事務局説明：別添資料に基づき説明

質疑

委員

(事務局)

- ・税率について、都道府県によっては、市町村統一ではないところもあるが、茨城県は、統一を目指さないということか。
- ・今のところ、県で統一を目指しているところは、関西のほうで4県ぐらいあると聞いている。それ以外のところは、とりあえず茨城県のような基本的な算定方法を用いて市町村単位での税率となる。茨城県では、現時点では、大きな変更はせずに、統一は、まだ目指さないということである。

委員

(事務局)

- ・被保険者数によって、市町村ごとの県への納付額が違ってくるが、現在の土浦市の被保険者数は何人か。
- ・現時点で、約37,000人である。年々減少しており、平成28年3月末では約40,000人であったが1年で約3,000人減少している状況である。平成29年11月28日に示された県の資料では、約35,000人で推計されている。

<p>委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に土浦市で算定される場合には、県で示された35,000人となるのか。被保険者数が減少しているというのは、自営業の人が少なくなり、社会保険加入者が増えているということか。</li> <li>・平成28年10月に社会保険加入の促進があったことにより、土浦市国保から3,000人減った内の2,000人ほどが社会保険に移ったと推定している。所得のある方々が、多数抜けていると捉えている。人口減少により、毎年1,000人ぐらいつつ減ってきた中で、平成28年度だけ3,000人減ってしまった。このような状況から、平成29年度36,000人、平成30年度には35,000人で見込まれている。</li> </ul>
---------------------	---

協議事項（２）土浦市国民健康保険税賦課方法について

○ 事務局説明：別添資料に基づき説明

<p>質疑 委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所得の少ない人が国保に残ったということになると、国保にとっては、ますます大変なことになる。所得割と均等割の2方式になると、今までのように世帯割がなくなり、財政面が懸念される。</li> <li>・2方式、3方式、4方式のメリット、デメリットを説明させていただき、協議をお願いしたい。</li> </ul>
<p>委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2の2頁の表の見方について、3方式から2方式になることによる調停額の増減が示されており、1人世帯がマイナスになっているが、3方式にすると、増減が逆になるということか。</li> <li>・現行どおり3方式のままであれば、増減はない。2方式になることにより、平等割がなくなり、所得割と均等割に加算することになるため、1人世帯は減額になる。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯員が増えるごとに増税となってしまうのは、土浦市全体で子どもを増やしていこうと考えた場合に、若い世帯の人が子どもを生みたくなるような状況と逆行してしまうのではないかと思う。その点の判断が難しいと思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保は、世帯主に対してということもあり、1世帯いくらという3方式のほうが、財政的にいいのではないかと思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2方式にすることにより、若い世帯が増額になってしまうのはいかがなものかと思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2方式というのは、全国的な流れの中での2方式なのか。最終的に、2方式を目指しているのか。</li> </ul>

(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終的には、2方式がわかりやすいということで、将来的には、全国的な流れは2方式かと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2の2頁の表を見ると、2方式ではなく、様子をみながら現行の3方式のままでいくというのも一つの方法かと思う。</li> </ul>
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の制度改正は、国では、混乱をきたさないようにソフトランディングをして、急激な増税は、なるべく避けてほしいということである。今回、制度改正がある中で、3方式を2方式にすると、実際は増税になっていないにもかかわらず、増税感が出てしまうのではないかと考えている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>3方式を2方式にするのは、時期がまだ早いのではないかと思う。3方式をしばらく継続するというので決定してよろしいか。</li> </ul> <p>(異議なし)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>では、3方式で進めるということで、よろしくお願ひしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険料が不足する場合には、一般会計からの補填が必要になるのかどうか。</li> </ul>
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、一般会計から5億円繰り入れている状況である。次回、一般会計から繰入れた場合や基金を取り崩した場合など、案をご提示させていただきたい。一般会計からの繰入を減らすことが、今回の制度改正の趣旨にあるが、急激に減らすことは難しいと思われる。増税をする場合など、市の財政状況も勘案してシミュレーションした案を次回提示するので、ご意見をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>年収の面で、どこをターゲットにするのかということは考えているのか。</li> </ul>
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国保の制度に限度額があるが、平成30年度の制度改正により、引き上げになる。高所得者からは、ある程度徴収することになるかとは思いますが、低所得者が多数を占めているため、いくつかシミュレーションを提示させていただき、ご判断をお願いしたい。</li> </ul>

その他

○ 事務局説明：土浦市国民健康保険運営協議会の開催予定

(平成29年12月26日10時から、平成30年1月にも1回開催)  
を説明

15:40 終了